

寄贈品コーナー「相模平野の微地形と地盤」展 開催中！(11月25日まで)

今夏、博物館では夏期特別展「平塚周辺の地盤と活断層」を9月9日まで開催し、大好評をいただきました。展示解説書と地盤図の増刷にともなって、「平野の微地形と地盤」をテーマに展示をします。

平塚の市街地を作る平野は起伏に富んだ微地形からなっており、大きく南部の砂州砂丘地帯と北部の自然堤防地帯

に大きく分かれること、その微地形が地下の地盤を反映していること、軟弱地盤や液状化という問題が地盤や微地形と密接に関わっていることを示します。特に、平塚の平野の地下断面から、自分が住む大地がどんな地層から成っているのか、軟弱な泥層は何メートルくらいあるのか、軟弱地盤はどこで厚いのか、液状化はどういうところで発生しやすいのか、などを見ていただければと思います。

2階のポスト特別展コーナーの活断層展示と併せて、是非ご覧下さい。

左図)平塚市域の軟弱地盤の厚さの分布

